

異文化マネジメントセミナー

インドネシア人と日本人のギャップ分析から
インドネシア人への伝え方を学ぶ

2020年2月4日（火）

時間：15:00-17:00（14時半開場）

場所：スラバヤ総領事館講堂

Jl. Sumatera 93, Surabaya 6028

定員：30

費用：無料

※申込締切：2020年1月31日 ※本セミナーは日本語で実施されます



インドネシア人と仕事をするときに、何度言っても「言うことを聞いてくれない」、こちらの言いたいことが「伝わってないなあ」とがっかりすることはありませんか？それはリーダーシップスキルの不足でも、相手の能力不足でもなく、異文化＝異なる価値観が原因となっていることが多いのです。

このセミナーでは「6Dモデル」という異文化理解のためのツールを学習し、なぜ伝わらないのか？を科学的に分析するポイントをお教えします。そのうえで、実際に起きたリアルなケースを題材に効果的なコミュニケーションを考えてゆきます。「インドネシア人やる気にさせてパフォーマンスを上げる」ための戦略を皆さんと一緒に考えてみましょう。

セミナーの内容

- イントロダクション インドネシア人に対するイメージを語る
- 異文化を理解するフレームワーク「ホフステッドの6次元モデル」
日本の特徴、インドネシアの特徴、ケース分析
- ケース分析

ホフステッドの6次元モデルとは？

異文化と組織文化研究の世界的権威であるオランダのホフステッド教授が国別の文化の違いを分類・スコア化したもの。このモデルを使用することにより、世界で初めて各国の価値観の違いを相対的できるようになった。ホフステッド博士は世界で最も論文引用件数の多い学者であり2008年には、ウォールストリートジャーナルより、「世界で最も影響力のある経営学者」20人に選ばれている。

スピーカー



勝 幹子 かつ みきこ

サイコム・ブレインズ株式会社
ディレクター/シニアコンサルタント
上智大学外国語学部、一橋大学大学院
国際企業戦略研究科卒業。電機メー
カーの人事部勤務ののち、ソフトウェ
ア開発のベンチャー企業にてアライ
ンスを担当。サイコム・ブレインズに
参画後は多国籍な参加者向けの研修や
海外体験研修の企画の立ち上げに携わ
り、最近では海外の日系企業の組織文
化ワークショップに力を入れる。



ヌグラヘニ リンタン

Nugraheni Niki Lintang Pertiwi
サイコム・ブレインズ インドネシア
Country Manager
明治大学大学院経営研究科、一橋大学
国際企業戦略研究科(ICS)卒業。三井物
産の奨学生として明治大学経営学科を
卒業後、大手日系メーカーに入社。本
社よりインドネシア生産拠点に赴任し
グリーン調達など様々なプロジェクト
をリードする。退社後は食品関連の企
業を立ち上げてCEOに就任する。異文
化やマネージャー研修の講師としても
活躍する傍ら日本人、インドネシア人
双方の悩みを理解し、より良い組織を
作り上げるためのアドバイスを行う。

▶お申し込み: <https://www.surveymonkey.com/r/RPNFLTF>

▶お問い合わせ: business-support@sb.mofa.go.jp

担当：スラバヤ総領事館 矢澤

▶内容に関するお問い合わせは以下にお願いいたします

リンタン +62-(0)823-1101-0551 (日本語)

cbi@cicombrains.com

Santi +62-(0)8131-1020-455 (インドネシア語・英語)